


No.			
氏名		Deepayan Basu	
志向	開発分野	IT・AI関連分野	
	職種	プロジェクトマネージャー	
	領域	ビジネス成長と価値創出	
	タイプ	多様性を重視する文化	
学歴			
2024	University	Masters	
言語/開発ツール			
言語		Python, C++	
開発ツール		Git/GitHub, VSCode, TensorFlow, PyTorch	
インターンシップ			
3人チームで、Python/FastAPI/Reactを活用し、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、センチメント分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融インサイト提供を実現。			
タイトル：		フルスタック開発担当として、FastAPI/Reactによるシステム設計、LLMチャットボット実装、フロントエンド開発、感情分析・予測モデル構築を担った。	
概要：		3人チームで、Python/FastAPI/Reactを活用し、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、センチメント分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融インサイト提供を実現。	
エンドユーザー：		アプリを使用する一般ユーザー	
内容：		3人チームで、Python/FastAPI/Reactを活用し、投資家向けAI金融ダッシュボードを開発。収益報告書の解析、リアルタイム株価データ連携、センチメント分析、予測分析機能を統合し、ローカルLLM活用による低コスト・高効率な金融インサイト提供を実現。	
具体的な内容 1		果たした役割（3人体制）： フルスタック開発担当として、FastAPI/Reactによるシステム設計、LLMチャットボット実装、フロントエンド開発、感情分析・予測モデル構築を担った。 ディープラーニングモデルの設計・訓練 データの収集と前処理 モデルの評価と改善	
課題：		クラウドモデルのレイテンシとコスト制約を克服するため、軽量ローカルLLM（Ollama, HuggingFace）をGPU加速で導入。ChromaDBの最適化とキャッシュ層	

	追加により、エンベディング検索性能を向上させた。 -> マネージャーからの継続的な指導を受けつつ、自主学習を行った -> モデルに供給するためのデータを適切にクリーニングする必要があった -> 少量のデータセットを手動でチェックし、アルゴリズムを適用して検証した	
得られた成果	システム全体の技術設計を主導し、LLM統合と予測分析モデルの実装を推進。チーム内でベストプラクティスの共有と、開発プロセスの効率化に貢献。	
直面した課題	クラウドモデルのレイテンシとコスト制約を克服するため、軽量ローカルLLM（Ollama, HuggingFace）をGPU加速で導入。ChromaDBの最適化とキャッシュ層追加により、エンベディング検索性能を向上させた。	
リーダー経験	システム全体の技術設計を主導し、LLM統合と予測分析モデルの実装を推進。チーム内でベストプラクティスの共有と、開発プロセスの効率化に貢献。	
製品開発について		
興味を持つ理由		
果たしたい役割		
興味ある分野（左から1番→3番）		
未指定	未指定	未指定
日本企業について		
一番興味がある点		
習得したいこと		
キャリアアップについて		
3大優先要素		
興味ある役割		
日本語レベル		
性格	Diligent	